

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う 組合緊急アピール

3月30日に第一例が確認されて以降、富山県でも、新型コロナウイルスの感染拡大が急速に進んでいます。

ロンドン大学インペリアル・カレッジ即応チームのプレスリリース（3月30日付）¹にもあるように、この段階では、社会的距離の確保やイベントの取りやめ、あるいは学校閉鎖も含めた措置が効果的だと報告されています。全国から多くの学生や教職員が集まる大学がもたらす社会的影響の大きさを鑑みるなら、これは、「有効」というよりは「必要」に近いものと判断します。

したがって、学生ならびに教職員、ひいては地域社会の人々の生命と安全、生活を守るために、組合より大学当局へ向けて以下の点を要求します。

1. オリエンテーションや入学式の取りやめ、前期授業の延期を含め、学生、教職員の生命と安全を確保するために、迅速かつ効果的な措置をとること。
2. コロナウイルスの拡大を事由とした雇用条件の不利益変更を行わないこと。
3. 教職員が置かれている職務の内容や労働環境の多様性を考慮しつつも、長時間労働を回避し、柔軟な働き方を可能にする判断と措置を講じること。
4. 万一、何かしらの不利益が生じうる場合、（ア）職の喪失に関わる内容であればこれを行わず、（イ）労働環境の悪化や経済上の不利益が発生する場合には十分な補償を与えること。
5. 現場にいる学生や教職員の声に耳を傾け、十分にくみ取るよう努めること。

以上

この事態は、もはや対岸の火事ではありません。真摯な対応を求めます。

2020年4月2日
富山大学教職員組合

¹<https://www.imperial.ac.uk/media/imperial-college/medicine/sph/ide/gida-fellowships/Imperial-College-COVID19-Europe-estimates-and-NPI-impact-30-03-2020.pdf>